

授業 科目	CT2J65	0.5単位	選択	実習	2学年後期	担当 教員	川田公仁 桜井ますみ 中川武 小野崎美奈子						
	教育実習指導												
授業の概要	① 幼稚園および認定こども園(以下、幼稚園とする)の実態を認識し、2年次教育実習(参加・責任)のねらいと内容、および留意点を正しく理解する。 ② 責任実習においては、指導案に沿った周到な準備と、子どもの実態を的確に把握することの重要性について理解する。 ③ 建学の精神である忍耐と進取の気概をもち、教育実習を体験することにより幼稚園教諭としての職務と幼児教育技術を習得し、教育と実務能力を併せもつ優れた幼児教育者としての育成を図る。												
到達目標					学習成果Ⅰ			学習成果Ⅱ			学習成果Ⅲ		
					①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
1. 本学の目指す保育者像の指針と教師として求められる能力・資質について理解する。					◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
2. 実習園の指導計画との関連を図りながら指導案を作成することができる。					○	○	○	◎		◎		○	
3. 事後指導において実習体験を発表し合い、成果・課題を共有し、保育者としての資質向上に役立てることができる。								◎	○	◎		○	
凡例 ◎:学習成果Ⅰ～Ⅲを獲得するために特に重要な目標、○:学習成果Ⅰ～Ⅲを獲得するために重要な目標 査定項目①～⑨はVページ参照													
	主 題	準備学習	本時の学習内容と到達目標					復 習					
1	教育実習の意義と目的	教育実習Ⅰを振り返り授業に備える。	・教育実習及び指導の目的と概要を理解する。					本時の学習内容を整理しておく。					
2	幼稚園の理解 実習日誌	実習をする園についての理解を深めておく。 教科書p84-85を読んでおく。	・幼稚園における教職員の組織と役割分担を学ぶ。 ・実習日誌の内容及び書き方の確認 ・実習園の概要の記入					事前訪問の日時を実習園に確認する。					
3	実習指導案	教科書p96-97、p99、104-107、112-113を読んでおく。	・実習指導案作成の手順を確認し、参加実習の内容と、指導場面への適切な関わり方について学ぶ。 ・事前訪問にあたっての諸注意					指導案作成の手順の確認をする。 事前訪問にあたっての準備をする					
4	事前訪問指導 1	事前訪問をする際の留意点を確認する。	・事前訪問時の心構えや身だしなみ、マナーを確認する。					実習園を訪問するための準備が整っているか確認する。					
5	事前訪問指導 2	事前訪問をする際の留意点を確認する。	・教育実習Ⅱに臨む上での心構えについて学ぶ。					実習園を訪問し、実習に備えて指導を受ける。					
6	実習指導案作成 1	部分実習指導案において製作するものの材料を準備する。	・「ものづくり」に関する部分実習指導案を作成する。 ・実際に製作物を作成し、指導案の内容を検討する。					本時の学習内容を整理しておく。					
7	実習指導案作成 2	「ものづくり」について、年齢別に調べておく。	・「ものづくり」に関する部分実習指導案を作成する。					本時の学習内容を整理しておく。					

8	実習指導案作成 3	「からだを使った遊び」について、年齢別に調べておく。 教科書p48-67を読んでおく。	<ul style="list-style-type: none"> ・一日の流れに沿った保育の展開、遊びへのかかわり方、一斉活動の関わり方等、幼児指導の留意点を学ぶ。 ・「からだを使った遊び」に関する部分実習指導案を作成する。 	本時の学習内容を整理しておく。
9	実習指導案作成 4	実習園のデイリープログラムを確認し、責任実習のイメージをしておく。	<ul style="list-style-type: none"> ・責任実習指導案作成時の留意点について確認する。 ・実習園の情報をもとに責任実習指導案を作成する 	本時の学習内容を整理しておく。
10	実習指導案作成 5	責任実習の主活動に使用するものを準備する。	<ul style="list-style-type: none"> ・実習園の情報をもとに責任実習指導案の作成をする。 ・主活動で制作をする場合は、実際に作成し指導案の内容を検討する。 	本時の学習内容を整理しておく。
11	実習指導案作成 6	課題となっている指導案に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> ・作成した指導案による保育の展開をイメージし、内容を検討する。 	作成した指導案による保育の展開を再度振り返る。 指導案は一人ひとりの子どもの姿を予想して作成することを再認識する。
12	事後指導 1	実習園への提出物を確認する。 自身の実習での体験を客観的に振り返り、課題として残ったことを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・礼状を作成する。 ・実習の反省と達成度について自己評価を行う。 ・実習体験発表の原稿を作成する。 	実習報告会の準備をする
13	事後指導 2	実習報告会の準備をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・実習報告会で自身の体験を発表する。 ・他者の実習体験を聴講することによって、多様な園があることを認識する。 	実習報告会で発表された内容を整理する。
14	事後指導 3	実習での学びを振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> ・個人面談① ・実習での課題を出し合い、制作物としてまとめる① 	本時の学習内容を整理しておく。
15	事後指導 4	実習での学びを振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> ・個人面談② ・実習での課題を出し合い、制作物としてまとめる② 	本時の学習内容を整理しておく。
成績評価	レポート等の提出物(50%)、授業への取り組み(50%) 合計 100%			
教員からのコメント	教育実習指導は、本学の目指す教育像である資質をもって実習に臨めるように組まれた授業です。そのため授業は休まないで出席してください。そして、幼稚園教諭としての自覚と責任をもって、最後の実習に臨んで欲しいと願っています。			
教科書	書名 幼稚園・保育所・認定こども園 パーフェクトガイド 著者 小櫃智子・守巧・佐藤恵・小山朝子 編 発行所 わかば社	推薦図書	書名 著者 発行所	